



鹿児島県・宮崎県 木材輸出戦略協議会（事務局：曾於地区森林組合） 『スギ、ヒノキ丸太を中国、韓国へ』

【主な品目】

スギ、ヒノキ

【主な輸出先国・地域】

中国、韓国

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成23年4月に木材輸出戦略協議会を設立し、同年7月から輸出を開始しており、現在は、鹿児島県・宮崎県の近隣4森林組合で活動。
- ◆ 4森林組合が連携することにより、国内需要の少ない大径材や低質材を安定的に供給することが可能となるとともに、九州の地理的利便性を生かしながら、中国を中心に販路を拡大。

【輸出実績】（平成23年から輸出開始）

	スギ輸出量(m³)	ヒノキ輸出量(m³)	出荷時期
令和2年度	65,619	0	通年
令和元年度	53,640	1,114	
平成30年度	59,979	1,807	



志布志港ヤード

【取り組む際に生じた課題】

- 1 原木の長期的・安定的供給体制の構築。
- 2 他国との価格競争への懸念や、現地ニーズの情報不足。

【生じた課題への対応】

- 1 県境を越えた森林組合が木材輸出戦略協議会を設立し、現在は4森林組合（鹿児島県：曾於市森林組合、曾於地区森林組合、宮崎県：都城森林組合、南那珂森林組合）が連携して輸出。
- 2 国内外の現地視察や市場調査の定期的な実施と、関係者からの情報の収集・共有の実施。



原木の積込状況

【対応の結果】

- 1 協議会で連携することによる安定した供給体制の構築と、受注から出荷までの時間の短縮。
- 2 国内需要の少ない低質材や大径材の輸出による、森林所有者の所得の向上。

【今後の課題・展望】

- 1 中国市場等へ良質材や木材製品を売込み、オール九州での産地間の連携による共同出荷でブランド化。
- 2 木材輸出港としてのヤード整備。



オール九州木材輸出セミナーの様子